

令和4年

5月27日発行

5号

フィグスポ

フィグラーレ狭山FC

ジュニアユース

中学生・小学生スクール

J2アルビレックス新潟 西村遥己選手 応援よろしくおねがいします

当チームに所属していた「西村遥己選手」が今季4月より「J2アルビレックス新潟」へ入団され、2カ月がたちました。チームから連絡を取らせていただき、元気に練習に励んでいることをお伺いいたしました。西村選手からは、「Jリーグの試合に向けて、仲間とコンディションを整え、新潟県のみなさんと共に勝ちあがっていきます。」と、熱い情熱を感じました。



引き続き、西村選手への応援をよろしくおねがいします。〈余談〉狭山市に戻る際には、当チームにもいらして下さるようにご依頼しております。その日を楽しみにしてください。

不安を取り除く

とある18年目の医師のお話。「50歳代の手術を控える女性が泣いており・・・。」手術室の廊下から見える窓から、手を握る看護師さん。手術室の寝台で泣いている患者さん。「そりゃそうだろう」これから麻酔をかけられ、意識がなくなると考えると不安が募る。不安を取り除くため、看護師さんや麻酔科の先生があらゆる手段で対応。10分ほどで落ち着き、無事に手術も成功し、ICU（手術あとに入る病室）で目を覚める患者さん。「不安で、怖くて涙がでてしまいました。」と。

翌日は、10歳の男の子。不安から始まる手術ではなく、安心して手術を迎えるようにと。「保護者の方がいる、病室で寝かせてから、手術室に運ぼう」と、数年前から取り入れている手法。子供から見たら、手術室なんて、どう感じるのか。「ロボット工場」「暗いところ」「恐竜にたべられた夢」等々、子供なりの発想。確かに、そう感じるのだと。

サッカーの世界でも同じことがあるのではないのでしょうか。先日、試合中に相手選手にPKをあたえてしまうシーンがありました。GK選手からしたら、地獄のような心境かと思います。「このPKをとめたら勝ち。」と思うと、不安が募ります。それでも、フィールド選手からは「決められても俺らが取り返すから心配するな」「お前なら、絶対に止められる」と、熱い思い。ベンチでは、気が気でない指導者3人（塩月コーチに渡壁先生、監督）と、大人3人で不安を隠せず、もじもじしていました。結果は見事セーブして勝利へと。GK加藤選手の「日頃からの熱心な練習態度から生まれた、GKとしての資質」が発揮された場面でした。チームの仲間も指導者も、不安にならないように味方選手に励ましたり、応援したりして、「場を盛り上げていくこと」、「心を支えること」は、とても重要なことです。

6月1週目から、U15選手の高円宮杯は継続されますが、みんなの力で勝利につながるよう、みなさんからの応援をよろしくおねがいします。

「不安」を「安心」に変えることができるのは、誰でもできます。「君ならできる！」と、一言添えると、仲間の信頼、関係性が生まれます。卒業式には、こんなことがあったと振り返ってほしいと思います。「がんばれ！フィグっ子！！」

●小学生スクール全学年連絡 6月7月 練習日程について

6月小学生スクール練習日程	7月小学生スクール練習日程
6日（月）ジャクパ狭山グラウンド	6月のフィグスポにて、お知らせいたします。
13日（月）ジャクパ狭山グラウンド	
20日（月）ジャクパ狭山グラウンド	
27日（月）ジャクパ狭山グラウンド	
●練習時間	
スキルアップクラス：18時から19時15分（集合17：50から準備します）	
ジュニアクラス：19時から20時15分（集合18：50から準備します）	
プライマリー選手：19時から21時（集合18：50から準備します）	
練習会場：ジャクパ狭山グラウンド、狭山市市民総合体育館（狭山市柏原555番地）	
連絡事項：狭山市総合体育館での約束事項について	
○保護者観戦はできません。2階観覧席での観戦もできません。	
○自宅出発前に検温を行い、出席を取る際に、体温を代表へ伝えて下さい。	
○マスクを着用して練習します。雑巾と飲み物を多めに用意して下さい。	